

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの市議会だより

市議会だより 第143号
平成10年5月19日
発行日 野市議会
住所 〒191-8686 日野市神明1-12-1
電話 (042) 585-1111
内線 601 ~ 605

平成10年 第1回定例会

平成10年度予算を可決 厳しい財政、福祉、教育、環境に重点配分

平成10年第1回定例会は、3月9日から4月3日までの26日間にわたり開かれ、市長提出議案28件、議員提出議案3件、請願・陳情14件が審議されました。

今定例会は、2月22日に投票が行われた市議会議員選挙後初の議会であるため、議案等の審議に先立ち、正副議長選挙や各委員会委員の選出など、人事構成が行われました。

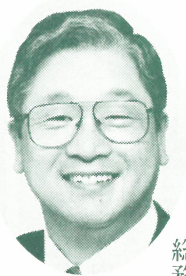
10日に行われた議長及び副議長選挙の結果、第19代日野市議会議長には馬場繁夫議員（公明）が、同じく副議長には竹ノ上武俊議員（日本共産党市議団）が選出されました。

12日には、当面する行政課題や平成10年度予算と主要事業について馬場市長の所信表明が行われ、これに対し11名の議員から質疑がありました。

市長提出議案のうち、平成10年度予算案については、一般会計予算及び特別会計予算の2つの特別委員会が設置され審議されました。5つの特別会計については、全会一致で原案どおり可決されましたが、一般会計及び2つの特別会計については賛否が分かれたため挙手採決を行った結果、賛成多数で原案どおり可決されました。その他の議案については、農業を市の基本産業と位置づける「日野市農業基本条例」などすべての議案が原案どおり可決されました。議員提出議案については、市組織条例の改正に併せ常任委員会の名称及び所管事項を変更する「日野市議会委員会条例の一部を改正する条例」及び2件の意見書が原案どおり可決されました。

正副議長 就任あいさつ

議長 馬場 繁夫（51歳）
公明
市議会議員五期
総務委員



副議長 竹ノ上武俊（62歳）
日本共産党市議団
市議会議員七期
総務委員



主な議案と内容

◎農業基本条例の制定

《原案可決》
この条例は、農業を市の基本産業として位置づけ発展させることを目指すものであり、全員一致で原案どおり可決されました。

内外の厳しい農業環境の中で、日野市の農業の役割を、生産機能だけでなく環境を維持する機能、安全で新鮮な食生活を保障する生活文化機能等に注目し、その機能が十分に発揮できるよう農家の生活安定と魅力ある農業の確立を目指し、市、農業者、市民の責務を定めたものです。（平成10年7月1日より施行）

◎市議会委員会条例の一部改正《原案可決》

この条例は、市の組織改正に併せ、常任委員会の名称、所管事項を変更するものであり、全員一致で原案どおり可決されました。

この改正により常任委員会は「企画総務」「生活文教」「福祉保健」「まちづくり建設」の4委員会となり、今定例会で選任された委員が

去る三月の第一回定例会におきまして、私どもは、議長並びに副議長に選出されました。誠に身に余る光栄と、この重責に對し粉骨砕身の思いであります。今後とも、十六万市民の願う「住みよいまちづくり」に向けて、円滑な議会運営を図る所存であります。さて、日野市は本年、市制施行三十五周年という節目の年にあたりますが、この間、市勢は多摩地域の中核都市として、発展を遂げてまいりました。しかしながら、近年、行政を取り巻く社会環境は大きく変貌しており、経済情勢は、今日足踏み状態といわれ、厳しい財政状況の中、少子高齢社会への対応、地方分権の対策、循環型社会への取組み等々、行政課題は山積しており、二十一世紀型の新しい行政システムを構築することが急務ではないかと思っております。行政は停滞することなく、時代に即応した施策を展開することが肝要であります。議会についても活性化を図り、委員会活動の充実、行政部局への政策提案等、側面支援をする所存でありますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜り、議会に対する更なるご支援を心よりお願い申し上げます。

14-2

永年勤続表彰

そのまき引き継ぎます。なお、所管事項については2面をご参照ください。（市組織条例改正の日より施行）

◎固定資産評価審査委員会委員の選任《同意》
次の方の選任に同意がされました。
奥住 壽（48歳）
住所 日野市栄町5-1
関東市議会議長会及び東京都市議会議長会より、永年市政の発展に尽くされたとして、米沢照男前議員（関東35年表彰）、小山良悟議員（関東及び東京都15年表彰）が表彰されました。

平成10年第1回定例会の日程

3月9日	本会議（議長選挙、副議長選挙）
10日	本会議（委員会の設置・選任、一部事務組合議会議員等の選挙・推薦・選任、会期の決定）
11日	本会議（所信表明、行政報告、諸般の報告、議案上程、請願上程）
12日	本会議（総務委員会、文教委員会）
13日	常任委員会（厚生委員会、建設委員会）
16日	一般会計予算特別委員会
17日	特別会計予算特別委員会
19日	特別委員会
20日	本会議（議案・請願審査報告、議案上程）
23日	本会議（一般質問）
25日	本会議（一般質問、議案審査報告）
26日	本会議（一般質問）
29日	本会議（一般質問、議案上程、請願上程）
30日	本会議（一般質問）
4月1日	本会議（一般質問）
3日	本会議（一般質問、議案上程、請願上程）

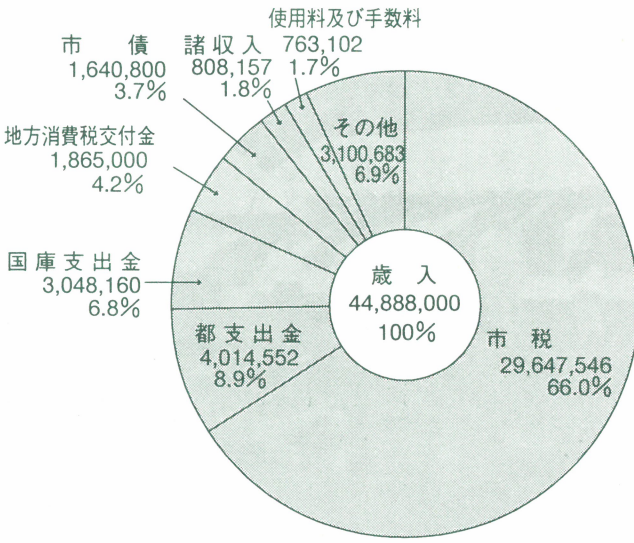
平成10年度一般会計予算総額

448億8,800万円(前年度対比 0.9%増)

平成10年度特別会計予算総額

327億2,578万円(前年度対比 2.3%減)

平成10年度一般会計歳入歳出構成図



平成10年度予算の概要

厳しい財政状況の中、積極的な予算編成

平成10年度一般会計予算総額は、448億8,800万円、前年度対比3億8,300万円、0.9%増となりました。歳入については、その66%を占める市税収入のうち個人市民税が前年を下回ったものの、法人市民税、固定資産税、都市計画税が増加したことにより、前年度対比7億1,900万円、2.9%の伸びをみせました。また、地方消費税交付金が平年度化され、11億1,500万円、14.7%の増となったほか、国・都支出金が6億2,500万円、9.7%増となりました。

歳出については、組織機構の見直し、定数管理の適正化、事務事業の見直し等を図り、節減に努めながら福祉、教育、環境を優先した予算配分となりました。また、平成10年度特別会計予算総額は、327億2,578万円、前年度対比7億7,684千円、2.3%減となりました。

予算審議から

一般会計予算

特別委員会

平成10年度一般会計予算特別委員会は3月17日から19日までの3日間、開催され、沢田研二委員長、森田美津雄副委員長のもと、慎重な審議が行われました。

基本方針や予算執行に当たっての具体的方策、健全な財政運営の取り組みなどについて、延べ52人の委員から150件を超える質疑や行政への意見、提言、指摘が行われました。

主な質疑としては、使用料等、公共料金の見直しの考えについて、市民課豊田駅連絡所の事業内容について

特別会計予算

特別委員会

平成10年度特別会計予算特別委員会は3月20日に開催され、執印真智子委員長、黒川重憲副委員長のもと、慎重な審議が行われました。

主な質疑としては、豊田南区画整理事業の今後の見直しについて(区画整理事業特別会計)

平成10年度予算額及び前年度比較

区 分	平成10年度	前 年 度	増減率
一 般 会 計	44,888,000千円	44,505,000千円	0.9
特 別 会 計	32,725,781千円	33,502,625千円	-2.3
国民健康保険	7,467,439千円	7,046,512千円	6.0
土地区画整理事業	2,917,935千円	3,487,943千円	-16.3
下水道事業	6,537,422千円	7,182,857千円	-9.0
市立総合病院事業	4,452,670千円	4,464,387千円	-0.3
受託水道事業	2,689,288千円	2,822,638千円	-4.7
老人保健	8,609,707千円	8,448,163千円	1.9
老人入院共済事業	51,320千円	50,125千円	2.4
合 計	77,613,781千円	78,007,625千円	-0.5

常任委員会等委員決まる

常任委員会の名称・所管事項が変更になり選任されました。

常任、議会運営、特別の各委員会委員が、次のとおり選任されました。

なお、常任委員会の名称及び所管事項は、5月1日より変更となりました。これは、市の組織改正が同日をもって施行され、常任委員会の名称および所管事項を定める市議会委員会条例も併せて改正されたためです。

また、特別委員会についても、当面する行政課題を調査研究するため、4つの特別委員会が今定例会で新しく設置されました。

常 任 委 員 会

企画総務委員会(定数8)

〔所管事項〕企画部・総務部・収入役・選挙管理委員会・監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項

(委員長) 中谷 好幸 竹ノ上武俊

(副委員長) 佐瀬昭二郎 夏井 明男

佐藤 洋二 馬場 繁夫

江口 和雄 土方 尚功

生活文教委員会(定数8)

〔所管事項〕市民生活部(国民健康保険及び国民年金に関する事項を除く)・環境共生部・農業委員会・教育委員会の所管に関する事項

(委員長) 小川 友一 沢田 研二

(副委員長) 出沼恵美子 一ノ瀬 隆

中野 昭人 黒川 重憲

奥野 倫子 小山 良悟

福祉保健委員会(定数7)

〔所管事項〕福祉保健部・市立総合病院の所管に関する事項。国民健康保険及び国民年金に関する事項

(委員長) 執印真智子 田原 茂

(副委員長) 森田美津雄 内田 勲

清水登志子 福島盛之助

手嶋精一郎

まちづくり建設委員会(定数7)

〔所管事項〕まちづくり推進部・建設部の所管に関する事項

議会運営委員会(定数8+正副議長)

〔所管事項〕会期・議事日程、議事進行発言の取り扱い、議案・請願等の取り扱い、市議会報、その他議会運営に関する事項

(委員長) 内田 勲 小川 友一

(副委員長) 小島 久 夏井 明男

菅原 直志 (議長)

中谷 好幸 馬場 繁夫

森田美津雄 (副議長)

江口 和雄 竹ノ上武俊

特 別 委 員 会

市立病院等建設特別委員会(定数7)

〔調査事項〕機能と役割・運営・事業の連携について

(委員長) 江口 和雄 板垣 正男

(副委員長) 佐藤 洋二 黒川 重憲

佐瀬昭二郎 福島盛之助

小川 友一

行政改革推進特別委員会(定数7)

〔調査事項〕事務事業の見直し・機構と定員管理・行政施策・財政について

(委員長) 菅原 直志 沢田 研二

(副委員長) 名取美佐子 奥住日出男

手嶋精一郎 夏井 明男

中谷 好幸

スポーツ・文化・教育特別委員会(定数7)

〔調査事項〕スポーツ施設の拡充・文化事業の推進・小中学校の余裕教室の活用について

(委員長) 中野 昭人 小島 久

(副委員長) 秋山 薫 宮沢 清子

奥野 倫子 一ノ瀬 隆

出沼恵美子

ごみリサイクル特別委員会(定数7)

〔調査事項〕分別収集方法・資源化促進・施設整備促進について

(委員長) 森田美津雄 内田 勲

(副委員長) 清水登志子 土方 尚功

執印真智子 小山 良悟

田原 茂

財政状況の厳しい中、市民福祉向上に向け
着実な前進を図った予算編成を高く評価

主 成
民 ク ラ
賛 賛

原案に賛成する立場で意見を申し上げます。
日野市の財政環境は、長期の景気低迷と前市長の無計画な財政運営により、悪化の一途をたどっています。中でも財政調整基金や公共施設建設基金の大部分を取り崩した責任は重大です。厳しい財政環境の中、0・9%であってもプラスの予算編成を行い、福祉、

る姿勢を高く評価します。
今後、更に厳しい財政状況を乗り越えるには、行政改革に取り組み、むだを排除した効率的な行政執行が望まれます。その上で使用料等の改定や消費税の転嫁も検討が必要です。そして、その財源をもとに、福祉、教育、環境等の充実はもちろん、遅れている都市基盤整備にも財源を回し、16万4千市民の声なき声にも意を注ぎ、幅広い市民の要望と期待に応える努力を期待し意見とします。

民 ク ラ
市 ク
賛 賛

行政環境に即応した施策推進のため
経営感覚を持って財政の健全化に努力を

一般会計予算に賛成の立場で意見を述べます。
平成10年度一般会計予算の総額は、48億8千800万円、対前年度比3億8千300万円の増となりました。厳しい経済環境の中での予算編成に苦慮されたことと推察されます。
本予算案には今必要な福祉施策が多く盛り込まれました。弱い立場にある人のことをまず考える市長の考えが見えるような予算となりました。教育費については、小中学校教育の中でパソコン教育が本格的に開始することになりました。また、環境に配慮したまちづくりとして、資源のリサイクルのための予算、ダイオキシン防止のための焼却炉の改修予算が盛り込まれました。

今、日野市には重要課題が多くあります。中でも都市基盤整備の推進や介護保険制度の施行には、その対応に大きな財政負担が予測されます。市政運営に経営感覚を持ち、早急に財政の健全化を図る必要があります。
平成11年度は今年以上の厳しい財政環境の中での予算編成となることは間違いありません。今、市政は大きな歴史的転換期にあり、時代の流れに対応した改革を大胆に実行していく時期を迎えており、行政を取り巻く環境の変化に即応した行政施策の適切な選択を図る必要があります。市民サービスを下させず、行政水準を確保していくためには、重点施策の見直しを図り、優先順位の方針を明確にし、健全な財政運営を確立していかなければならないことを申し述べ、意見とします。

議会選出委員を
組合議会議員を選出

今定例会において、議会より選出の委員と組合議会議員などが、次のとおり選出されました。

◎監査委員

福島 盛之助

◎南多摩東部共立病院組合議会議員

秋山 薫

◎農業委員会委員

板垣 正男

◎東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議員

小島 久

内田 勲

中谷 好幸

◎消防委員会委員

菅原 直志

中野 昭人

江口 和雄

一ノ瀬 隆

奥住 日出男

佐瀬 昭二郎

夏井 明男

執印 真智子

◎東京都11市競輪事業組合議会議員

黒川 重憲

小山 良悟

◎東京都4市競艇事業組合議会議員

黒川 重憲

小山 良悟

◎南多摩農業共済事務組合議会議員

黒川 重憲

小山 良悟

原案賛成の立場でいくつかの提案。
財源の確保と業務全体の見直しを期待

・ 流
清 ネ
賛 賛

原案賛成の立場での意見表明とともに、今後のための提案をします。
1点目、退職職員の再雇用制度は、退職者が培ってきた経験を市民サービスに役立てられるよう制度の充実を要望します。2点目、インターネットホームページは、観光案内や市政案内にとどまらず、災害時の情報網の中心となる位置づけが必要です。
3点目、介護保険計画策定には、福祉関係の市民グループの声を聞き取り、計画に反映させることを要望します。4点目、寝たきり老人在宅入浴サービスは、せめて週1回となるよう回数増加をお願いします。5点目、女性社会事業協会は、発足予定の女性参画推進室等と連携し、それぞれの役割分担を明確にしていく必要があります。
6点目、不燃物回収ボックスの脇で空きびんを回収する事業は、市民としても協力しやすい仕組みであるかと評価します。7点目、週1回の資源物回収ポイントを順次拡大していくことを要望します。8点目、ダイオキシン対策は炉の改修だけでなく、わかりやすい分別の仕方をPRし、塩ビ製品を買わない、ごみとして出さないことが大切と考えます。9点目、環境ホルモ

平成10年度一般会計予算に対する

各会派の
総括意見

平成10年度一般会計予算に対する各会派の意見表明は、3月25日に本会議場において行われました。各会派の意見（要旨）を紹介いたします。

少子高齢社会を見据えた画期的な
予算編成。更に行革の推進を要望す

明 成
公 賛

原案に賛成の立場で意見を申し上げます。
対前年度比で0・9%増という超緊縮予算にもかかわらず、今後の少子高齢社会を見据えた画期的な予算編成となりました。老人家庭24時間巡回型ホームヘルパー派遣事業や公的保証人制度等は、我が会派が予算要望や一般質問等で再三取り上げてきた事業です。

注文したいことも多々あるが、
市民要望に沿った新規事業は評価

あ お ぞ ら
賛 賛

1998年度一般会計予算案に対し賛成の立場から意見を申し上げます。
民生費と教育費については、従来の予算フレームが引き継がれました。24時間ホームヘルパー派遣、在宅介護支援センター、二つ目の痴呆性デイホーム、高齢者民間住宅斡旋、公的保証人制度などの市民要望に沿った新規事業が組み込まれました。

一般財源からの繰出しが大幅に減額されました。下水道は都市基盤整備には絶対に必要な事業です。一日も早い完成を可能にする計画の建て直しを要望します。
特別減税の実施は自治体財政に大きな打撃を与えました。政府に対し、特別減税による減収には責任を持って財政的措置を取るよう強く迫る必要があります。最後に、使用料及び手数料の見直しと消費税の転嫁を、来年度以降もしないことを要望し意見とします。

一般質問

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。

今定例会では、3月26日から4月3日までの5日間にわたり行われ、19名の議員から47件の質問があり、行政側の対応をいただきました。

中谷 好幸

(日本共産党市議団)

緊急融資など中小企業への不況対策を急げ

問 緊急的な不況対策について、その対応を問う。

答(市長) 市内の業者が少しでも潤うような方法を考え、施策を進めていきます。

精神障害者への生活支援の強化を

問 精神障害者への支援強化について問う。

名取美佐子

(無会派)

学校教育充実

問 学校の統廃合問題は市民、保護者、教員と行政が一体となって検討していくべきではないか。

答(学校教育部長) 指摘の趣旨を生かしていきたいと思います。

介護サービス充実

問 現場の声を反映させた介護保険サービス事業の展開を問う。

答(市長) 重要なことであり、それらを踏まえて考えていきたい

中野 昭人

(日本共産党市議団)

「ずすかけの家」の法人化にむけた支援のあり方と具体的な中身について

問 ミニバス延長や乗り合いタクシーの確保について。

答(企画財政部長) ミニバスの延長については、概ねバス会社と協議が整っています。乗り合いタクシーについては、財政や採算の問題がありますが、交通体系全体について検討、研究していきたいと考えています。

南部地域住民の切実な要望と

問 都の基準に縛られることのないゆとりある支援を期待するが。

答(福祉部長) 定員20名規模の施設に見合う土地の無償貸与を考

女性参画推進

問 日野男女平等行政推進協議会からの中間答申後、現在まで、どのような取り組みがされてきたのか問う。

答(生活文化部長) 「男女共同参画都市宣言」を来年度中に実施できるよう準備を進めています。

ごみ減量リサイクル

問 子供たちがリサイクルに対する理解を深める施策を問う。

答(環境部長) 来年度、子供ごみ探検事業を予定しています。

宮沢 清子

(公明)

乳幼児突然死症候群(SIDS)から尊い命を守るために

問 知識の普及に努め、心肺蘇生法の啓発やカウンセリングを実施してほしい。

答(生活文化部長) 東京都と情報交換しながら対応します。

子どもたちが輝く子育て支援事業について問う

問1 子供家庭支援センター事業への取り組みについて問う。

問2 幼稚園の3歳児保育、時間外保育の実施について問う。

問3 保健所で交付している医療券を市で対応してほしい。

問4 保留地等の遊休地を一時的に遊び場として開放してほしい。

答1(福祉部長) 厳しい状況ではありますが、子育てアンケートの実施も含めて早期に設置できるように検討します。

答2(学校教育部長) 慎重に検討します。

答3(生活文化部長) 保健所と協議し、要請していきます。

答4(福祉部長) 情報収集をし活用させていただきます。

佐藤 洋二

(無会派)

JR西豊田駅誘致事業の展望について

問1 複々線化促進協議会について問う。

問2 駅舎位置予定地の変更について問う。

問3 基金の積み立てについて予定があるか。

答1(都市整備部長) 八王子市や高尾以西の市町とも協議し、連携していきたいと思います。

答2(同) 複々線化を促進する

奥住日出男

(民主クラブ)

公的介護保険導入に伴う日野市の対応について問う

問1 介護保険が導入される平成12年までにどんな準備が行われるのか。

問2 ヘルパーはなぜ2級以上の資格が必要なのか。また、事業者の整備状況はどうか。

問3 4月から介護券が廃止される。急ぎ過ぎではないか。要介護者への対応を問う。

問4 2級以上のヘルパーを育成

沢田 研二

(市民クラブ)

日野市の財政立て直し計画を問うー危機的状況下にある厳しい財政をどう対処するかー

問1 起債の未償還元金がピークになる時期と金額について問う。

問2 下水道事業の見直しによる公債費の額について問う。

問3 今後の退職金等を含めた財源の運用方法について問う。

問4 健全財政を維持し、財政が危機的状況にならないための方策を問う。

答1(企画財政部長) 平成13年度に約7億7千万円です。

答2(同) ピーク時の平成18年度で29億2千万円余りで、見直し前より5億4千万円の減になります。

答3(同) 退職手当については今から少しずつも蓄えていかねばならないと思っており、きちんとした財政運営を計画的に行う必要があると認識しています。

答4(市長) 人件費の見直しや企業会計の要素を取り入れるなどよりよい方法を考慮し、市民サービスの低下がないよう頑張っていく次第です。

執印真智子

(清流・ネット)

豊南橋の実現と浅川散策路の整備を

問 豊南橋の今後の見通しと一番橋から高幡橋までの散策路の整備計画を問う。

答(建設部長) 豊南橋の即実現は財政状況から厳しい状況です。散策路については、整備可能な場所から予算化に努めていきます。

介護保険に向けての市の対応を問う

問 保険料、サービス内容等の介護保険に対する相談受付窓口の設置を問う。

答(福祉部長) 担当部署での窓口はもとより、介護支援専門員を配置するなど、見近などでも対応できる体制を整えていきたいと思います。

入学通知書は何故遅れたかーまず情のある教育行政を

問 障害がある児童に通知が遅れたケースについて説明を求む。

答(学校教育部長) 差のない事務処理が基本ですが、今回は就学相談の関係で発送が遅れました。

小山 良悟

(民主クラブ)

ゴミ・ゼロ社会を目指しての対応開始を望む

問 ゴミ・ゼロ社会の実現には、先端技術を駆使したごみ処理機や施設の導入が必要である。微生物による生ゴミ処理、焼却灰のエコセメント化、高溶融炉による不燃ゴミの処理について見解を問う。

答(環境部長) 焼却灰のエコセメント化は、有効性・安全性が確認されれば事業化を検討します。また、生ゴミ、不燃ゴミの処理に

ついては、技術開発の状況を調査研究していきます。

明星地区にミニバス(ワゴンタクシー)を早急に(丘陵地帯に住む高齢者に配慮を)

問 先般、実地踏査を実施したが、開設に向けた決意と、今後はミニバスを福祉施策として位置づけていく考えはないか。

答(市長) 路線バスとの整合性や市の財政負担等を検討します。また、高齢者福祉施策の一貫としても事業展開を考えていきたいと思

田原 茂
(公 明)

多摩平五丁目13番地、20番地
地域の浸水対策について

答(上下水道部参事) 浸水原因
となっている北側台地部分からの
雨水の流入状況を調査し、抜本的
解消へ向け努力します。

長山市営住宅の早期の建て替
えと修繕について

答(市長、総務部長) 国、東京
都の補助金の関係により平成18年
以降建て替えの予定ですが、老朽

佐瀬 昭二郎
(あおぞら)

福祉事業団が市民とともに育
ててきた「在宅老人ケア事業」
と「老人給食事業」の今後に
ついて

問1 2事業を社会福祉協議会に
移すメリットは何か。

問2 これまでの成果を問う。

答1(福祉部長) 市民参加型の
事業に移すことで、広範囲にわた
る市民の連携が可能となり、寄附
金等を受けられることで市の財政
負担が軽減されると考えます。

化の現状を認識し、積極的に対応
します。

市立総合病院の建て替えに伴
う近隣住民への配慮について
(プライバシーの保護、悪臭
対策等)

答(市長、病院事務局長) 当初の
計画より病院建物を南側へ移すな
ど計画を見直し、近隣住民のプ
ライバシー、日照権を侵害しない配
慮を実施しました。

また、病院特有のにおいの拡散
を防止するために脱臭フィルター
の維持管理を怠ることなく実施し
ます。

答2(同) 介護に対応する人材
育成と地域の福祉力を高めていま
す。

ミニバスなど市内の交通体系
の見直しをすすめるべきだ

問1 市立病院利用者も含め、利
用実態を把握するための調査を実
施する考えはないか。

問2 市内の交通不便地域の見直
しをするべきである。

答1(企画財政部長) 調査はし
ていませんが、利用状況は把握を
しています。

答2(市長) 市民の意識調査を
実施し、検討していきます。

菅原 直志
(清流・ネット)

市の契約事務について
(市民にわかりやすい契約事
務を)

問1 企業公社との契約と見積り
の取り方について改善する考えは
あるのか。

問2 随意契約について見直しし
ていく考えはあるか。

答1(市長、企画財政部長) 調
査し、整理した上で見直しをして
行きたいと思っています。

答2(市長、総務部長) 各事業

奥野 倫子
(日本共産党市議団)

教育の現状と教育行政の果た
す役割

問1 不特定多数の生徒に対する
所持品検査は子供のプライバシー
への侵害ではないか。

問2 卒業式への日の丸・君が代
導入は、それに出席する子供や親
への事実上の強制ではないか。

問3 教育委員会に教育現場や保
護者、地域住民の声をどのように
反映させているのか。

答1(学校教育部長) 学校には

別に調査したいと思っています。それ
ぞれの業務を把握し、認識したう
えで間違いのないようにしていき
たいと思っています。

市民の命を守る情報ネット
ワークの構築を

問 計画されているホームページ
についての考えと市民参画につ
いて問う。

答(市長、企画財政部長) 行政
と市民が互いに情報交換できるよ
うなものと考えています。各市の
状況も参考に、市民にも参加
していただくことも必要ではない
かと思っています。

安全な状態で教育を行う義務があ
ると考えています。

答2(教育長) 学習指導要領に
基づいて、学校の教育活動の一環
として行われているものです。

答3(学校教育部長) PTA代
表と教育委員会が定期的に会合を
持ち、教育に関する意見交換や交
流を深める努力をしています。

交通安全対策

問 万願寺区画整理地内で交通事
故が頻発している。対策を問う。

答(都市整備部長) 基本的には
今の安全対策で大丈夫だと思います
が、再度検討します。

考えます。

森田 美津雄
(あおぞら)

介護保険導入に向けた準備の
状況と問題点、課題について
問う

問 要介護の認定にかかわる第1
次と第2次判定で生じる誤差をど
のように対応していくのか。

答(福祉部長) 認定にあたって
は、公平性が原則です。

従って、調査段階の調査そのもの
の公平性を保つ上でも、重要な
ポイントである調査員の育成には
十分注意し、指導していきたく

清水 登志子
(日本共産党市議団)

乳幼児医療費無料化制度の拡
充について

問 今後の取り組みを問う。

答(福祉部長) 東京都に対し、
所得制限の撤廃、補助率・対象年
齢の引き上げを要望するとともに
、他自治体の状況を見つつ制度
の充実に努めます。

多摩平団地建て替えにともな
う住民対策について

問 高齢者、年金生活者が安心

して住み続けられる対策を求む
答(都市整備部長) 都営住宅の
併設・借り上げ、市の特定目的借
上住宅の導入と、第一期工事部分
については団地内移転する方向で
公団、自治会と協議しています。

豊田南地域の区画整理事業、
下水道事業について

問 予算削減が計画に与える影響
と住民への周知について問う。

答(都市整備部長) 地価の下落
等で期間の延伸が必要になりました
。10月ごろをめどに変更内容を
詰め、地権者以外の方を含めて周
知していききたいと思っています。

問5 ケアマネージャーの育成に
ついて問う。

問6 介護保険法を改正する要請
行動について問う。

答1(福祉部長) 検討します。

答2(同) 対応出来る準備を進
めます。

答3(同) 相談窓口の設置など
情報の提供を図ります。

答4(同) 東京都、国保連合会
で苦情処理窓口を設置しますが、
市にも設置するよう検討します。

答5(同) 人材を確保するため
積極的に取り組みます。

答6(同) 都知事、他市の市長
と協力して国に要望します。

夏井 明男
(公 明)

行政改革の今後の取組み
について問う

問 0歳児保育の充実と延長保
育の考えを問う。

答(福祉部長) 0歳児保育につ
いては、民間保育園と連携を取り
ながら事業の拡大等を含めて、努
力していきたく考えています。

また、延長保育については、公立
保育園では、現在、職員と実施に
向けた具体的な問題点について、
協議を進めていく予定となってい
ます。

竹ノ上 武俊
(日本共産党市議団)

多摩動物園通りに桜並木は復
活するか問う

問 多摩動物園通りの植樹計画は
どうなっているのか。

答(都市整備部長) 動物園通り
は、モノレール関連のシンボルロ
ードとして散策路的な整備が計画
されています。樹種の選定に当た
っては、整備検討委員会に対し桜
並木を提案したいと思っています。

バス進入路の先行整備を問

うー高幡区画整理に関連して

問 既に用地が空いている日野3
14-9号線をバス路線として優
先利用することはできないか。

答(都市整備部長) 駅前広場を
整備する段階で、バス利用の状況
を踏まえ、都道側の一部だけでも
利用できないか検討します。

問 多摩平団地への影響は。

答(都市整備部長) 本来の住都
公団の役割を認識する視点に立つ
て、建て替え事業に対応します。

書

見

意

■保育施設の充実を求める意見書

児童福祉法の改正は、子育て環境の整備を図ることを
主旨としている。保育施設の充実が少子化問題に対応す
る観点からも重要であり、多様な保育ニーズに応える
サービス体制を整備し、安心して子どもを産み育てられ
る環境作りのためには、厳しい財政事情であっても必要
な予算は確保すべきである。従って、①子育て環境の整
備を図るため保育施設の充実を図ること②質の高い保
育サービスが受けられるよう、財政措置及び職員配置の
充実を図ること③保育料等保護者負担基準の設定は、低
所得者や若い人たちの利用を妨げないよう保護者の負担
軽減を図ること―以上を要望するものである。

【意見書提出先】内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣、
厚生大臣

■所得・住民税減税を求める意見書

日本経済は、消費税率引き上げや特別減税の廃止によ
る個人消費の減退に金融不安が重なり、深刻な景気低迷
の事態にある。更に、完全失業者が増勢を見せる中で、
国民は景気の回復と国民生活の安定を強く求めている。
今国会での平成10年度予算は、当面の景気回復を最優
先させ、雇用と国民生活の安定を図るため、生活重視と
景気回復の予算、経済運営策を早急に決定し実行すべ
きであり、低迷する個人消費の拡大を図り有効な景気対策
を早急に実施することが強く望まれる。
従って、「4兆円の所得税・住民税減税を実施し、うち
3兆円は制度減税として恒久化し、1兆円は特別減税と
する。」ことを強く要望するものである。

【意見書提出先】内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣

新しくなった市議会議員30名

(掲載は議席番号順。上段=住所、下段=電話番号)

 ①中野 昭人 (日本共産党市議員団) 平山3-4-7 206号 ☎591-7376	 ②清水登志子 (日本共産党市議員団) 旭が丘2-42-1 1-206 ☎586-6183	 ③奥野 倫子 (日本共産党市議員団) 大坂上3-25-5 ☎583-2913	 ④菅原 直志 (清流・ネット) 旭が丘5-8-9 1号 ☎587-5808	 ⑤出沼恵美子 (清流・ネット) 落川1099 101号 ☎591-8841
 ⑥名取美佐子 (無党派) 平山3-11-5 ☎592-5267	 ⑦秋山 薫 (市民クラブ) 日野台4-5-5 ☎586-8988	 ⑧佐藤 洋二 (無党派) 東平山2-31-7 ☎581-7452	 ⑨手嶋精一郎 (民主クラブ) 落川1099 ☎591-7440	 ⑩小島 久 (民主クラブ) 大坂上1-17-22 ☎583-2631
 ⑪中谷 好幸 (日本共産党市議員団) 三沢1-13-13 ☎593-5672	 ⑫佐瀬昭二郎 (おおぞら) 南平1-23-5 ☎591-6334	 ⑬森田美津雄 (おおぞら) 多摩平2-5-3 401号 ☎581-7102	 ⑭執印真智子 (清流・ネット) 南平6-10-16 ☎592-2939	 ⑮江口 和雄 (市民クラブ) 旭が丘5-6-10 ☎584-2220
 ⑯沢田 研二 (市民クラブ) 旭が丘4-7-5 1-407号 ☎584-8622	 ⑰田原 茂 (公明) 旭が丘6-7-8 106号 ☎581-4704	 ⑱宮沢 清子 (公明) 高幡台団地41-503 ☎592-6769	 ⑲小川 友一 (民主クラブ) 日野1221 ☎581-1027	 ⑳奥住日出男 (民主クラブ) 日野台2-20-5 ☎583-1944
 ㉑竹ノ上武俊 (日本共産党市議員団) 百草団地268-206 ☎591-7505	 ㉒板垣 正男 (日本共産党市議員団) 新坂下住宅6-305 ☎581-8164	 ㉓一ノ瀬 隆 (おおぞら) 多摩平5-12-9 ☎581-3505	 ㉔内田 勲 (市民クラブ) 豊田3-5-23 ☎586-0551	 ㉕夏井 明男 (公明) 多摩平公住233-202 ☎585-1538
 ㉖馬場 繁夫 (公明) 平山5-22-25 ☎591-2432	 ㉗黒川 重憲 (公明) 日野179 ☎584-8348	 ㉘土方 尚功 (民主クラブ) 日野988 ☎582-1455	 ㉙福島盛之助 (民主クラブ) 栄町4-24-1 ☎581-6014	 ㉚小山 良悟 (民主クラブ) 南平1-22-21 ☎593-8800

請願・陳情の
審査状況

採択された請願
○0-3歳児保育の充実と保育時間の延長について
以上0歳児クラスがなく、また乳児保育の定員が少なく多くの待機者がいる現状です。労働時間の多様化等もあり充実した延長保育も望まれます。父母が安心して子供を保育園へ預け豊かに育つ保育行政の発展を願う請願するものです。
〔結論〕全員一致の採択。

今定例会では、請願・陳情14件が審査されました。
審査の状況は次のとおりです。

継続となった請願
○人間らしく生き、人間らしく働くことを根底から破壊する労働法制全面改善に反対する意見書の採択を求める陳情
○更なる医療制度改善に反対する意見書の採択を求める陳情
○介護保険制度の準備・施行に関する陳情
○医療制度の連続改善を求め、安心してかかる医療の充実を求める陳情
○日野市三沢四丁目の緑地上のマンション建築に反対し、同緑地の保全と高幡山の景観の保持及び災害時避難場所の確保を求めることに関する請願
○市民生活の快適な環境を求める陳情
○新ガイドラインに伴う有罪判決に反対する陳情
○猫の不妊手術の補助に関する請願
○多摩平団地の空き家状態解消を市に願う請願
○日野市立第三幼稚園の増員に関する請願
○歩行者横断信号機の設置に関する請願
○「南部診療センター」の建設促進を求める請願
○旭が丘一丁目の子供広場(緑地)と雑木林のみのり保全を求める請願

今定例会で議決した議案

市長提出議案

- | | |
|------|---|
| 第1号 | 日野市農業基本条例の制定 (原案可決) |
| 第2号 | 日野市役所支所の設置及び所管区域に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第3号 | 日野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第4号 | 日野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第5号 | 日野市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第6号 | 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第7号 | 日野市職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第8号 | 日野市市税条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第9号 | 日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第10号 | 日野市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第11号 | 日野市中心身障害者(児)福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第12号 | 日野市立福祉センター条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第13号 | 日野市遊び場条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第14号 | 日野市史編纂委員会条例を廃止する条例の制定 (原案可決) |
| 第15号 | 平成9年度日野市一般会計補正予算(第5号) (原案可決) |
| 第16号 | 平成9年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (原案可決) |
| 第17号 | 平成9年度日野市土地地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決) |
| 第18号 | 平成9年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決) |
| 第19号 | 平成9年度日野市立総合病院事業会計補正予算(第3号) (原案可決) |
| 第20号 | 平成9年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第3号) (原案可決) |
| 第21号 | 平成9年度日野市老人入院共済事業特別会計補正予算(第1号) (原案可決) |

議員提出議案

- | | |
|------|--|
| 第22号 | 平成10年度日野市一般会計予算 (原案可決) |
| 第23号 | 平成10年度日野市国民健康保険特別会計予算 (原案可決) |
| 第24号 | 平成10年度日野市土地地区画整理事業特別会計予算 (原案可決) |
| 第25号 | 平成10年度日野市下水道事業特別会計予算 (原案可決) |
| 第26号 | 平成10年度日野市受託水道事業特別会計予算 (原案可決) |
| 第27号 | 平成10年度日野市老人保健特別会計予算 (原案可決) |
| 第28号 | 平成10年度日野市老人入院共済事業特別会計予算 (原案可決) |
| 第29号 | 平成10年度日野市立総合病院事業会計予算 (原案可決) |
| 第30号 | 日野都市計画事業高幡土地地区画整理事業に関する業務委託契約の変更 (原案可決) |
| 第31号 | 日野都市計画事業東町土地地区画整理事業の施行に伴う水道施設の整備に関する協定の締結 (原案可決) |
| 第32号 | 日野市児童育成手当条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第33号 | 日野市監査委員の選任 (同意) |
| 第34号 | 日野市固定資産評価審査委員会委員の選任 (同意) |
| 第35号 | 日野市市税条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |
| 第36号 | 日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決) |

編集後記

議会報編集委員は議会運営委員が兼ねることになっており、今号は新委員でお届けする初の議会だよりになります。
定例会中は円滑な議会運営を、また、議会報の編集に当たっては読みやすい紙面作りを心掛けたいと思います。ご意見ご要望をお寄せください。
議長 馬場 繁夫
副議長 竹ノ上武俊